

## 平成26年度 評価対象事業概要

<b>整理番号</b>	1	<b>事業名</b>	福島体育館・武道館整備事業	
<b>事業個所</b>	福島市霞町地内	<b>担当部課</b>	教育委員会 保健体育課	
<b>【整備内容】</b>		<b>【位置図】</b>		
<p>○再整備場所 福島市霞町4番45号(現在地)</p> <p>○敷地面積 10,678.54㎡(霞町88番:9,956.22㎡ 47番:722.32㎡)</p> <p>○構造(予定)鉄筋コンクリート(一部鉄骨) 3階建て</p> <p>○施設構成(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延床面積 6,600㎡程度</li> <li>・施設内容 アリーナ(現行と同じ高さ10.5m、柔道場、剣道場、弓道場(アリーナ、武道場の広さは現施設と同規模)、ランニングコース(ギャラリー)、事務室、会議室(3)、控室(2)、医務室、授乳室、男女更衣室(各3)、男女温水シャワー室(各2)、トイレ(男女各4)、多目的トイレ、エレベーター、湯沸室、放送室、倉庫、</li> </ul> <p>○設備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備 環境問題に取り組み、省エネルギーを図るため、太陽光発電、LED等を導入。</li> <li>・空調設備、機械設備 空調設備は、環境問題を考慮し、必要最低限の設備とする。 機械設備は、完成後の維持管理のしやすさ、将来の設備更新等も考慮する。</li> <li>・避難所機能 東日本大震災の教訓を活かし、応急避難所として安心して避難できる施設を目指すため、耐震強度に優れたものとする。</li> <li>・ユニバーサルデザインの導入 誰もが快適に利用できる施設とするため、段差解消、エレベーターの設置、多目的トイレの設置、点字案内版等を設置する。</li> </ul>				
<b>※現施設の概要</b>		<b>【事業概要】</b>		
<p><b>【福島体育館】</b>昭和39年8月20日竣工</p> <p>○構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨) 地下1階、地上2階建</p> <p>○延床面積 延床面積 5,975.30㎡</p> <p>○施設内容 アリーナ、トレーニング室(2)、会議室、男女更衣室、男女シャワー室、休憩室、主催者室、役員室、湯沸室、倉庫、トイレ(男女各3)、障がい者トイレ、ステージ、ホワイエ、観客席(1,922席)</p> <p><b>【附属合宿所】</b>昭和42年3月25日竣工</p> <p>○構造 鉄筋コンクリート 3階建</p> <p>○延床面積 811.30㎡</p> <p>○施設内容 収容人員100名、日本間客室14、食堂、浴室、管理人室</p> <p><b>【武道館】</b>昭和54年8月20日竣工</p> <p>○構造 鉄筋コンクリート(一部プレストレストコンクリート) 地上3階建</p> <p>○延床面積 2,916.19㎡</p> <p>○施設内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1階: 柔道場、器具庫、師範室、男女更衣室、男女シャワー室、事務室、トイレ(男女各2)、倉庫、湯沸室2</li> <li>2階: 剣道場、器具庫、師範室、会議室、男女更衣室、男女シャワー室、トイレ(男女各1)、倉庫、湯沸室</li> <li>3階: 弓道場、器具庫、師範室、会議室、更衣室、トイレ(男女各1)、湯沸室</li> </ul>		<p>建設から50年が経過し、施設、設備の老朽化が進んでいるとともに、東日本大震災の被害による使用制限があり、利用者に不便を与えている状況にあるため、安全安心な施設を目指すとともに、敷地の有効利用等を考慮し、体育館と武道館を一体的に再整備する。</p>		